

10期生見学旅行in台湾

笑いあり絆あり雨もありの6日間

2025年3月5日から3月10日まで、10期生が見学旅行で台湾へ行ってきた。当日は初めての環境に慣れないながらも、各々が現地の空気を肌で感じ、旅行を満喫していた。本号では、6日間にわたる旅の様子を紹介する。

1日目 (3/5)

飛行機での移動

2日目 (3/6)

忠烈祠、故宮博物院訪問、十份訪問(天燈上げ)、九份地区探索

3日目 (3/7)

現地高校交流、Xpark訪問

4日目 (3/8)

新幹線で台中への移動、国立科学博物館、九二一地震教育園区訪問

5日目 (3/9)

台北市内自主研修

6日目 (3/10)

飛行機での移動

1日目

旅の始まりのこの日、生徒はお昼頃に新千歳空港に集合した。集合前の空港フードコートには旅前の日本食を楽しむ生徒が多くいた。約4時間のフライトを経て生徒は桃園国際空港へ到着し、ホテルへ向かうバスの中で現地のガイドの方から台湾について話を聞いた。

2日目

忠烈祠では衛兵交代見学をし、生徒は故宮博物院へと向かった。展示物の中でも特に有名な豚の角煮のような鉱石など、文化的な工芸品を見学し、日本とは違う異国の文化を感じることができた。

レストランで中華料理を楽しんだ後、



◀ 忠烈祠の本殿

生徒は十份へと向かった。ここで願いを書いた天燈を上げて祈願成就を願う。部活の成功や恋愛、開き直って全願成就を願う者など多岐に渡っていた。

2日目最後は、九份へと向かった。沢山の提灯が頭上に並ぶ街並みを見ながら、生徒はお茶や工芸品などを見て回った。



▲九份の提灯

3日目

この日、生徒は台北市立西松高級中学へ向かい、現地の高校生と交流を行った。オープニングセレモニーで互いの学校の生徒によるパフォーマンスが披露された後、各教室でPreCSの発表を英語で行った。発表後の交流では、日本から持ってきた折り紙を用いて西松高校の生徒と交流を楽しんだ。



▲折り紙交流の様子

昼食後、日本の企業が手掛ける水族館Xparkへと向かった。従業員の方の講演では、台湾に水族館を作るまでの企業の努力や、日本と台湾のギャップによる難しさと解決策について知ることができた。



▲Xparkの大水槽

制作者 眞田 金岡 / 発行責任者 宮崎

開成校新聞

4日目

台中市内のホテル「パークレーン・イン」に宿泊するため、台北のホテルを出発し、新幹線で台中へ移動する。台中は台北に比べ降水量が少なく、過ごしやすい気候である。この日も晴れていて暖かく、初日から雨続きだった台湾でようやく青空が見られた。

新幹線を降りた後、バスで国立科学博物館へと向かった。博物館内では様々な科学に関する知識をアクティビティを交えながら楽しく学ぶことができた。特に生物史のエリアでは、動く恐竜の模型や巨大な骨格標本など、迫力のある大型展示に圧倒された。



▲アンキロサウルスの模型

博物館を出た後は、九二一地震教育園区へと向かった。1999年9月21日、台湾中部を震源として発生した大地震の被害を伝えるために作られた施設だ。屋内では地震発生当時の様子や復興に関する資料を、屋外では地震によって倒壊した建物の跡や断層を見学することができた。



▲倒壊した建物を見学している様子

5日目

6~7人のグループに分かれて自主研修を行った。途中までは現地の大学生に台北の街を紹介してもらいながら、台湾観光を満喫していた。台北101や龍山寺、中正記念堂などの王道の観光施設を回るグループや、誰も挑戦したことがないルートを開拓するグループなどがあり、楽しみ方は様々だった。現地の大学生との交流の中でも、日本とは異なる台湾の文化や日常を感じることができた。



▲虹色の横断歩道で有名な6号彩虹

▶多くの生徒が訪れた台北101



6日目

最終日となるこの日は、朝4時頃に起床して、バスの中で朝食を取りながら桃園空港へと向かった。それぞれのクラスでは、6日間台湾の案内をしてくださった現地ガイドの方との別れを惜しむ声が上がっていた。

出発時刻が早朝だったこともあり、飛行機の中では行きよりも熟睡している生徒が多かった。昼頃には新千歳空港へ到着し、各々が台湾での思い出を胸に帰路についた。

今年度以降に台湾見学旅行へ行く後輩へ向けて、気をつけるべきポイントを発展期の生徒に訊ねてみた。本コラムではそのうち三つを厳選して紹介する。

①足元には要注意!
台北や九份、十分は雨の多い地域で、10期生が訪れた際にも雨模様が続いていた。そこで気をつけたいのが九份の石段である。幅が狭い濡れた石段は非常に滑りやすく、実際に転んで怪我をしてしまった生徒もいた。

②八角に慣れよう
台湾料理や中華料理には、八角というスパイスが使われていることが多い。八角は独特の風味と香りを持った

これは押さえておくべき!

台湾で気をつけること3選

③英会話を練習しよう
日本に比べて台湾の人々は、英語学習に対する意欲が高く、支障なく日常会話ができるレベルの人がほとんどだった。現地の高校生や大学生と話す時には流ちょうな英語で話しかけられるので、英会話の練習を事前に行っておくと、より学びある交流にできるはずだ。

後輩諸君も台湾に行く際には、先輩たちの経験をぜひ参考にしてみてほしい。

め、不安な人は事前に食べてみて確認しておくのが良いかもしれない。万が一食べられないものが多かった時に備え、非常食を持って行くのも大切だ。